

## 和歌山地方税回収機構の活動状況について

### ～ 1ヶ月間で204件の差押えを実施するなど滞納整理を強化～

#### 1 行動実績

和歌山地方税回収機構では、毎月100件の差押えを行動目標としていますが、12月は、県、市町村と合同の滞納整理強化月間でもあり、不動産、預貯金、給与など204件の差押えを実施しました。

##### < 12月の行動実績 >

- ・ 差押え 月計204件（累計712件）
  - 内訳 不動産34件、預貯金99件、給与7件、その他64件
- ・ 公 売 12月12日に不動産公売を実施 3物件 計450万円で売却  
県主催の合同不動産公売(12月5日)にも参加
- ・ インターネット公売の開始(入札開始は1月17日より)

#### 2 徴収実績

この結果、滞納整理を開始した7月以降12月末までの半年間で、約4億円を徴収するとともに、差押え等による保全額を含め約7.4億円を確保しました。

##### < 12月末現在の活動成果 >

- ・ 滞納事案の引受件数 827件 引受税額 21.3億円
- ・ 完納件数 94件 徴収額 4億円(市町村税、個人県民税、国民健康保険税(料))
- ・ 徴収金の確保額 約7.4億円

#### 3 設立効果

市町村において機構への移管予告催告の実施による移管予告効果も、10月末現在で納付額約5.2億円及び納付約束額約14.4億円となり、併せて約19.6億円の効果(機構設立による間接効果)となっています。機構の徴収活動による確保額約7.4億円(機構設立による直接効果)と併せて約27億円の効果をあげています。

#### 4 今後の取組

税収及び税負担の公平の確保を図るため、今後とも滞納者の財産の差押えや公売などに積極的に取り組むことを通じて、構成団体である市町村及び住民の信頼に応えていくことに努めます。